

建設局予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
都市部放置自転車対策アクションプログラム推進事業（永松自転車駐留場（仮称）整備）	<p>平成18年10月に策定した都心部放置自転車等対策アクションプログラムにおいて、アクション1で2,500台の公共駐留場整備を目標としている。これまで、富小路六角、御池通まちかど駐留場及び御射山自転車等駐留場等で約2,000台を確保している。本事業は、放置自転車が多い藤井大丸周辺における整備が非常に有効であるものと考え、教育委員会所管の京都市総合教育センターの敷地を活用して、自転車駐留場を整備するものである。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>自転車駐留場を整備し、自転車利用環境を整えることで道路上の放置自転車をなくし、歩行者にとって安心・安全な道路環境を維持する。</p>	254,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
環境負荷軽減に向けた「京のエコみち」（LED道路照明灯の設置）	<p>京都市では、水銀灯や蛍光灯など約80,000基の道路照明灯を管理している。省エネ・低炭素化を図るため、平成20年度からは、水銀灯に変えて新設・更新時にはセラミックメタルハライドランプ灯を導入しており、今後は約65,000基を超える蛍光灯についても、検討を行う必要がある。蛍光灯相当の照明については、省エネ化としてLED照明が注目されているが、LED照明は統一的な規格は存在しないため、採用するにあたって、試験的に設置を行い、検証を行う必要がある。</p> <p>そこで、来年度については20W蛍光灯に変わりLED照明について、各メーカーから技術提案を受けるなど評価を行い、購入を行ったうえで、交通安全施設整備費にて設置を行う。</p> <p>また、設置箇所については、あんしん歩行エリアの松ヶ崎地区を予定している。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>LED照明灯の設置後、照度や光の見え方、感じ方を検証し、地球温暖化対策、低炭素社会の構築だけでなく、道路照明灯の維持管理経費削減に向けた本格的な導入を目指す。</p>	2,100	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

建設局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
環境負荷軽減に向けた「京のエコみち」（環境舗装の調査検討）	<p>本市では、ヒートアイランド対策を含めCO2削減等の環境に配慮した舗装技術の推進を図っている。</p> <p>都市部におけるヒートアイランド現象は、年々進行しており、本市内中心部においてもその現象が確認されている。環境に配慮した舗装技術のひとつである保水性舗装は、舗装内に保水材を充填し、舗装体内に保水された水分が蒸発することにより、水の気化熱の作用で路面温度の上昇を抑制する性能を持つためヒートアイランド現象に効果があり、保水性舗装の導入を検討している。</p> <p>来年度は本格的な導入に向け、パイロット事業として試験施工を行うものである。</p> <p>保水性舗装を施工した場合、路面の最高気温で10℃～20℃低下させることができるとされている。路面温度が10℃～20℃低下すると、歩行者が体感する高さ（1.5m）では約1℃、また、車椅子やベビーカー上での高さ（0.5m）での体感温度は2℃程度低下すると言われており、当該舗装の実施により歩行空間の快適性の向上が期待できると考えている。</p> <p>試験施工は「あんしん歩行エリア」の松ヶ崎地区での実施を予定しているが、「あんしん歩行エリア」は、エリア内の歩行者・自転車利用者に対する安全な生活空間の確保を主眼とした施策であり、当該エリア内において、保水性舗装を行うことで、歩行者・自転車利用者に対して、安全性に加え快適性も向上し、歩行空間の充実を図ることができるものと考えている。</p> <p>また、当該地区においては、左京区役所新庁舎の整備中であり、左京区総合庁舎整備基本計画に掲げる「誰もが安心して快適に利用できる総合庁舎」というコンセプトと融合させ、更には当該地区内で実施が検討されているLED照明灯と同時に実施することで、環境に配慮した道路整備のモデルケースとしてPRすることが可能である。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>保水性舗装の試験施工及び温度測定を実施し、その温度抑制効果を検証するとともに、実施に向けた解析を行い、当該舗装に係る本市の整備方針等の策定を行う。</p>	6,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
雨水貯留タンク整備	<p>建設局の各事業所（土木事務所、公園管理事務所ほか）を対象として、計12箇所に雨水貯留タンクの新設工事を行い、貯留された雨水を打ち水や構内での散水、災害時のトイレ用水等に利用する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;</p> <p>京都市水共生プランの取組の1つである雨水利用による水資源の有効活用の促進を図る。</p>	3,600	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。